

「人生の意味」～ 人生に意味はあるのか？／何のために生きているのか？

ひと昔前の「人生70年」&「右肩上がり」の時代は、多くの男性にとって、最初に入った会社に尽くすことが「人生の意味」だった。大手企業の部長や子会社の役員だったことを誇りとして、死んでいけた時代があった。

➔ しかし、そんな時代は終わった。もはや、会社が「人生の意味」を与えてくれる時代ではない

そもそも「人生の意味とは何か？」の「問い」に正解はなく、また与えられるものではありません。「会社が与えてくれた」というのは“幻想”（＝実際にはないのに、あるように見えただけ）だったのです。そして人生が格段に長くなった『人生100年』の時代では、なおさらのこと「人生の意味」を見出していけないと、人生の『後半』（＝55歳以降）になって自分を見失ってしまいます。そのため、高齢者と言われる65歳を過ぎて「自分の人生には意味がなかった」と思う人が増えているのです

BST
コメント

そこで提唱します。長丁場になった仕事人生／人生を「前半」と『後半』に分け、ハーフタイムでしっかり準備して『後半戦』に入ること。仕事人生も／人生も『後半勝負』となっている（＝後半が勝負を決める）ので、準備することもなく、うかつに『後半』に入ってしまうと、仕事人生も／人生そのものも“途中棄権”させてしまいます。—— そうならないため、ハーフタイムで《人生戦略》を学び、「真の自分」（＝何をやりたいのか？／何が好きなのか？）と向き合ってみる。そうすれば「人生の意味」（＝Meaning of Life）も／「自分の存在意義」（＝My Meaning）も見えてきます

日常生活や生き方の基本として、日本では“世間の目”や“同調圧力”が規範として存在している。

➔ “右肩下がり”／『人生100年』という「ひと昔前とはまるで違う社会／時代」になっても、**これまでのように「周りに合わせてやっていく」という生き方・働き方をする人が圧倒的に多い**

BST
コメント

社会に同調して自分も“右肩下がり”になり、『人生100年』の時代における「人生の意味」を見出せずに仕事人生&人生を“途中棄権”させてしまう。これは避けたい。—— もちろん「人生の意味」は人それぞれ違って当然ですが、誰にも「共通するもの」があります。それは「生きる意味は楽しむことにある」と「生まれてきて良かった！と死ぬ瞬間に思うために生きている」ということです。これにプラスして「自分なりの人生の意味」を好きなように決めればよい。あなたがそう決めたのなら、それが「答え」になる。「自分が選んだ答え」に基づく人生に大きな喜びと幸せがあります